

千葉県一プログラム 2 火おこし「火を絶やすな」

1. プログラムの概要

タイトル	火おこし「火を絶やすな」
プログラム方式	班対抗のタイムトライアル
プログラム概要	用意された材料でかまどを作り、持参した薪等をセットして火をつけ、麻ひもを焼き切る。
プログラムのねらい	①様々な条件下で確実に火をおこし、また火をコントロールする。 ②チームワーク
参加対象・単位	ボーイスカウト（班単位）

2. プログラムの実施条件

実施場所	指定された場所（約 2m×2m のエリア）
参加班の人数	5 人以上 8 人以下 ※実際の班の状況を考慮し 5 人未満での参加も可能とします。 （班員の数の違いによるハンデはありません）
プログラム所要時間	約 50 分（準備、後片付け含む。うち競技時間は約 25 分）

3. プログラムの準備

班の持参品	①軍手または革手袋（各自で） ②薪：土嚢袋で 1 袋以内。（袋の口が閉じられること） ※ 土嚢袋は参加班で用意。大きさは一般市販品 62×48cm 程度以下。 ※ 薪は「天然の樹木」に限る。材木等を割って使用するの不可。 ※ 薪の長さや太さは任意。その配分は班で考えて用意する。 ※ 競技中にナタやナイフ等の刃物は使用禁止。薪を割ったり切ったりは不可。 ③焚き付け：紙コップ（150mL）に 1 つ分。（コップの口から焚き付けがはみだしていないこと） ※ 焚き付けも「天然の樹木」に限る。油脂や着火剤、麻ひも等は不可。
主催者準備品	①ブロック：高さ 19mm 幅 39mm 奥行 10mm ×8 個 ②BBQ 網：40×60cm×1 枚 ③麻ひも：120cm×1 本 ④重石：2 つ（大きめの石など）

- ⑤マッチ：2本/班
- ⑥火ばさみ：2本/班
- ⑦消火に必要な道具（金属製のバケツや缶、ちりとり、スコップなど）
- ⑧防火用水：水が入ったバケツ

4. プログラム内容

（1）競技のルール

- ① 参加班は競技エリアの外に整列し、最初に危険予知を行い、手袋を着用する。（危険予知の方法は事前に隊で教わっておく）
- ② 「スタート」の合図とともに、用意された材料を競技エリアに運び、かまどを作る。
（P4に作り方を示す。各班で事前に作り方を見て研究しておく）
- ③ かまどの底面ブロックの上に持参した薪等を組む。薪組みは1段目のブロックに囲まれた空間内で、高さはBBQ網より下（BBQ網に接するまで）とする。
- ④ マッチ2本以内で着火し、火を育て、上部に張った麻ひもを焼き切ります。
マッチ2本以内で火がつかない場合、失格とします。
かまどの火が燃えている間に薪等を追加することは可です。
※ うちわや火吹き筒等を使って空気を送ることは不可です。
※ 焚き付けだけ燃えて麻ひもを焼き切っても、薪に火が移らなければ失格です。あくまで薪の燃焼により麻ひもを焼き切ることが要件です。
- ⑤ 「スタート」から麻ひもが焼き切れ、「2つの重石が地面に落ちて着く」までの所要時間を競います。
2つの重石はほぼ同時に地面に着くとは思いますが、着地の遅い方で計時されます。かまどの上端から重石までの麻ひもを垂らす長さは班の任意としますが、重石の最下端が地上から5cm以上離れている必要があります。重石に結ぶ麻ひもの結び方は、各班で事前に研究します。
- ⑥ 競技時間はスタートから25分間です。
この時間内に、麻ひもを火で焼き切れなかった場合は失格とします。
- ⑦ 競技後は、直ちに後片付けと原状回復（全ての資材を貸与される前の状態に戻すこと）を行います。
※ 燃えさしは、ちりとりと火ばさみを使って、所定の容器に入れること。（かまどに水をかけて火を消さない）
※ かまどを解体し、材料を元に位置に戻す。ブロックや金網は熱くなっているので必ず軍手を使用する。
- ⑧ 原状回復が終わったら①の位置に整列します。そこで、所要時間が書かれた成績書が渡されます。
- ⑨ 「礼」をしてプログラム終了です。持参したものを持って帰ります。

(2) タイムスケジュール

経過時間	所要時間	プログラムの流れ	内 容
0:00	10 分	資材準備	資材を整える
		競技の説明	ルールと進め方を説明する
		競技エリアへ移動	スタートの合図を待つ
10:00	25 分	競技スタート	競技に取りかかる
		競技終了	麻ひもを焼き切って、重石が地面に落ちた時点までを計時する。
35:00	15 分	後片付け・整列	火が収まるのを待って、燃えさしを処理し、かまどを解体し、材料をもとあった場所に戻す。
		成績書の交付	
50:00		解散	成績書が渡される

5. 注意事項

- ① 使用する「焚き付け」「薪」の「自然木」の解釈について
 - ・ 自然木とは工業的加工（製材、集成材・合板等）されておらず、油脂やニス、塗料等（燃焼を助長するもの等）の付着がない、「木」本来の性質を持っている木とします。
 - ・ この条件を満たせば針葉樹でも広葉樹でも OK ですが、竹は除外します。
- ② ブロックに囲まれた狭い空間に麻ひもを焼き切るのに十分な炎を上げるよう薪を組むことが必要になりますので、いかに燃えやすく組むか等、事前に十分な準備・研究、訓練が必要となります。

かまどの作り方



(1) 準備されている資材等

- 軽量ブロック (8 個)
- BBQ 網 (1 枚)
- 麻ひも (120cm、1 本)
- 重石 (2 個)

※競技を公平・公正に実施するために、同じ規格の材料を使用して、同じ仕様のかまどを使用します。



(2) ステップ①

- 「スタート」合図で競技開始です。
- まず、かまどを作るところを中心に、周辺半径 1m の落ち葉等を除去し、地面を平らにします。
- そこに左図のようにブロックを 3 つ平置きします。

※写真はデモ用に作ったものですので、落ち葉の除去、地面のならしはしてありません。



(3) ステップ②

- 続いて、左図のように、手前を焚き口にするように3方をブロックで囲います。



(4) ステップ③

- 次に、左図のように囲ったブロックの上
に BBQ 網をのせます。



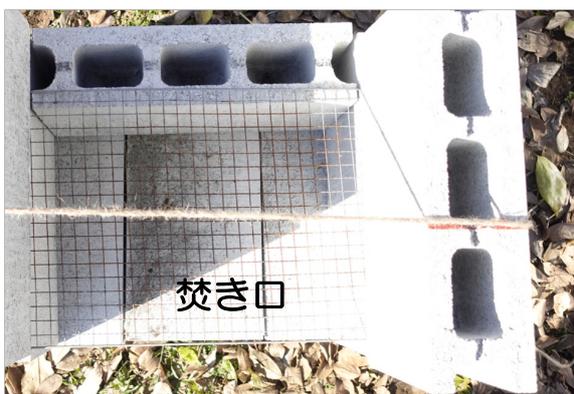
(5) ステップ④

- そして、左右の両端に 2 段目のブロックを左右に 1 つずつ載せて積みます。



(6) ステップ⑤

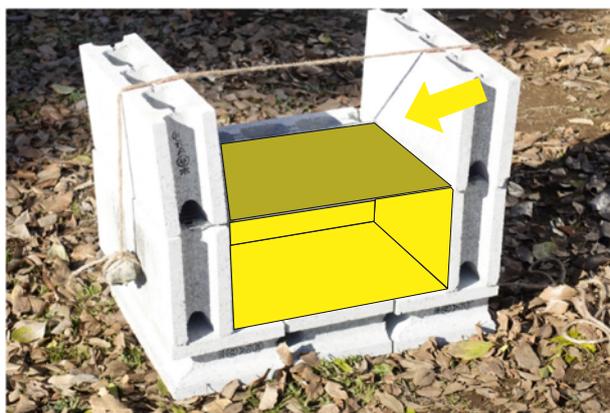
- 2段目のブロックには端から 15cm の場所に麻ひもの位置の目安の「線」を描いておきます。
- 目安の線が焚き口に近い方にくるように置きます。



(7) ステップ⑥

- 120cm の麻ひもの両端に重石を括りつけます。結び方は自由です。

これが完成形です。



- ここまでの所要時間は約3分と想定しています
- 黄色で囲まれた空間に、薪・焚き付けを組みます。